

第2節 整理事務

図書館資料の整理ということは、購入、寄贈等によって受入れられたあらゆる資料を、保管、管理のために遺憾のないように手続を完了し、必要に応じてそれらの資料をいつでも自由に利用し得る状態にしておくことである。そのためには、受入業務、目録作業、分類作業、資料の装備・配架、各種目録の編成、整本等の業務があり、これらの業務を「整理」という言葉で表現している。そして、この言葉のもつあいまいさのゆえに、対外的には非常に理解されにくい業務でもある。よりの確に表現するには「資料」という言葉を使用した方が明瞭になる。このような観点から全国的に「整理—整理係」から「資料—資料係」に統一されつつある。今日では全国都道府県立図書館の中で「整理—整理係」を呼称している館は数県にすぎない状態となった。したがって当館においても改称すべく検討されたが、これには諸規則の改正ともからむ問題であって課題としてその解決は次年度以降に持ち越さざるを得なかった。

なお、本年度は第4項でもふれたことであるが、昭和30年以來の継続事業であった蔵書目録公刊事業の最終篇である「文学篇2」を刊行した。この「文学篇2」は既刊の目録に比して、量において最大のものとなったためにその編集と校正に年度の大半を費し整理係全体としてまことにあわただしい年であったといえる。

以下主要な事項について概説する。

1 資料の収集

図書館資料の収集にあたっては、県立図書館の持つ資料センターとしての機能と教養、娯楽面で文化生活の場となる機能の二つの機能面で特に前者を重視し、そのために、利用者の調査研究にたえるような文献、

参考図書などの基本図書の整備を企図し、これらの資料を重点的に収集することに努めた。

一方、昭和40年度の資料購入費は、館内用図書 185万円、館外用図書 150万円の計 335万円である。このうち館内用図書購入費で購入した図書は 1,549冊で平均単価は 1,200円であった。前年度の実績をみると購入図書 1,942冊でこの平均単価は850円であったから、購入冊数の面では、図書購入費が前年度比40万円の増にもかかわらずかなり下まわり、平均単価では逆に40%の上昇率である。このような差違は前述したように、資料センターとしての機能を重視し、そうした面での十分な図書館活動を意図して収集計画をたてた結果でもある。しかし、また諸物価の高騰は出版物も例外ではなくそうした面も大きな原因の一つとしてあげることができる。最近の出版物は一時流行した軽装版から紙質、装幀のよい本へ、小型化から大型化へ、家庭購買力の上昇によって家庭向の豪華保存本へと移行しつつあり、値上りは必然的なことであるように思える。したがって図書購入費が大幅に増えない限り、購入冊数の低下はまぬがれないし、収集にあたっては更に一層の厳しい選択が要求される。

表1 昭和40年度年間増加冊数（分類別）

| | 購 入 | 寄 贈 | 編 入 | 計 |
|-----------|-------|-------|-----|-------|
| （館内奉仕用） | | | | |
| 総 記 | 205 | 239 | 187 | 631 |
| 哲 学 | 66 | 31 | 13 | 110 |
| 歴 史 | 266 | 417 | 32 | 715 |
| 社 会 学 | 244 | 373 | 215 | 832 |
| 自 然 学 | 47 | 49 | 38 | 134 |
| 工 学 ・ 工 業 | 69 | 66 | 54 | 189 |
| 産 業 | 54 | 226 | 82 | 362 |
| 芸 術 | 73 | 321 | 75 | 469 |
| 語 学 | 25 | 9 | 15 | 49 |
| 文 学 | 424 | 80 | 45 | 549 |
| 児 童 | 76 | 1 | 3 | 80 |
| 小 計 | 1,549 | 1,812 | 759 | 4,120 |
| （館外奉仕用） | | | | |
| 総 計 | 3,949 | 251 | | 4,200 |
| 総 計 | 5,498 | 2,063 | 759 | 8,320 |

表2 図書購入単価の推移

（過去5ヵ年における）

| | 図書費決算額 | 購入冊数 | 購入単価 | 購 入 単 価 | | 出版年鑑資料 |
|----|------------|--------|---------|----------|---------|---------|
| | | | | 館 内 | 館 外 | |
| 35 | 1,978,517円 | 4,729冊 | 418円37銭 | 595円31銭 | 263円16銭 | 352円12銭 |
| 36 | 2,245,678 | 5,817 | 416・13 | 607・64 | 296・30 | 398・95 |
| 37 | 2,927,670 | 6,456 | 453・48 | 676・28 | 350・62 | 490・22 |
| 38 | 2,847,600 | 6,053 | 470・44 | 701・20 | 398・94 | 512・51 |
| 39 | 2,950,000 | 5,396 | 546・66 | 849・64 | 376・37 | 614・66 |
| 40 | 3,350,000 | 5,498 | 609・13 | 1,194・31 | 379・84 | 624・55 |

2 寄贈図書

中央官庁や各種団体からの報告、統計書、民間会社からの社史、研究、宣伝、紹介物、大学、研究所等からの研究紀要など寄贈される図書類は年々増加し、本年度は図書 1,744冊、新聞77種、雑誌 214種に達した。図書の中には福島県財政課より近世日本国民史全 100巻や福島市居住の大島長十郎氏よりの 194冊などが含まれている。特に大島氏からの寄贈図書の中には1冊時価数万円のものが数十冊含まれている。

3 整 本

整本の仕事は、新聞、雑誌などの合本製本と、利用のはげしい巡回文庫等の図書、館内閲覧用の一般図書の修理などであるが、本年度処理したのは一般図書 1,226冊、新聞合本 244冊、雑誌合本 1,080冊 その他 785件であった。

4 蔵書目録

本年度は第9集として「文学篇2」を刊行した。更